

クラスの様子【6月号】

●ひよこ・りす組 **今月の目標** 安心感を持って保育園で生活する。他者と触れ合い、関わることの楽しさを感じていく。

5月には一人のお友達がりす組に仲間入りし、ひよこ・りすぐみは全員で19人になりました。

普段の活動では発達やその日の子ども達の状態や様子、また活動内容に応じていくつかのグループにわかれて活動していますが、給食やおやつ、集まりはみんな一緒に行っているの、そういった時間はとても賑やかになってきました。

子ども達がお互い顔を見合わせて笑い合ったり、子ども達同士で関わり合うことが多くなってきていることはとてもいいことだなと感じます。園での生活の流れも随分と子ども達は理解できるようになってきており、おやつ・給食の準備やお出かけの用意もとてもスムーズに行えるようになってきました。子ども達の吸収の速さや成長の速度には本当に驚かされます。私達保育士一同もそんな子ども達の大切な一瞬一瞬の変化や成長を見逃さず、その喜びや可愛さを保護者の皆さんと共有していきたいと思います。(安田)



●うさぎ組 **今月の目標** 好きな遊びを選択し、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

晴れたり雨が降ったり、天気の移り変わりが多いこの時期ですが、晴れの日には自分のやりたいことを選択してボードに顔写真を貼って自己決定することが定着しつつあります。自分で決めることで、一緒にいくお友だちや職員を把握し、活動に見通しを持つことができます。

4月に種まきしたヒマワリ、アサガオ、オクラの芽が出てきました。花の水やりから植物に興味を持ち、かわいく芽を出した種をじっと観察し“芽の上に種がついているよ”と植物の不思議に関心を示したり、水やりにも進んで取り組んでいます。先日、オクラの芽を畑に引越しました。広い畑にチョココンと並ぶオクラの芽を見て“かわいい～。赤ちゃんみたいだね”とつぶやく言葉にはほっこりしました。

毎日の生活の中で自分で決めることの大切さや生きものの命や植物をお世話する楽しさなどを一緒に感じ、いろいろな発見をこれからも子ども達と共にし、楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。(矢下)



クラスの様子【6月号】

●Aグループ **今月の目標** 梅雨の時期ならではの自然に触れ、遊ぶ事を楽しむ。

暖かく、爽やかな季節が過ぎ、あっという間に梅雨の時期となりました。子ども達は少しずつ好きな遊びやお友達、居場所を見つけ、安心感を持って生活できるようになってきていると感じます。先月は気候が良く、菅原神社やポキポキ広場、円満寺などをお散歩する機会がたくさんありました。お友達と手をつないで歩きながらおしゃべりをしたり、色んな草花を見るのを楽しみつつ、大きい子が「こっちにおいで。」と小さい子の手を引いて誘導したり、脱げた靴を履かせてあげたりとほほえましい場面も見られます。園の周辺には畑・田んぼ・茶畑が多く一見するとのどかな散歩道ですが、車もたくさん通ります。車が来た時にはサッと道の端に寄り車が通り過ぎるのを待つ事や、右・左・右と確認したら車からよく見える様に手をピンと挙げながら道を渡る事、道を渡る時にはおしゃべりせずに車が来る音にも注意する事など、繰り返し伝えながら歩きます。普段は車で移動が多い生活ですが、散歩は子ども達にとって交通ルールを学ぶ絶好の機会でもあります。また、季節を感じたり、たくさん歩くことで体力作りにも繋がります。これからも散歩の機会を多く持ちながら、みんなで交通ルールについて考えていきたいと思えます。(キム)



●Bグループ **今月の目標** 梅雨の時期ならではの自然に触れ、遊ぶ事を楽しむ。

Bグループでは先月に引き続き、ミッション散歩にたくさん取り組みました。先月は保育士が設定したミッションに取り組んでいましたが、今月は子どもたちからミッションを募り3つのグループそれぞれでミッションを考えました。年長さん中心に考える中で年中さんや年少さんの中にも自分の意見を言える子もおり、「虫探したい!」と年中さんが言う、「何の虫探す?」「何個探す?」など質問をしてくれてミッションの構成を考えてくれたり、すべてのミッションが決まると「どのミッションから行く?」「お花探すミッションとお茶の実探すミッションは歩いとる途中でできるな!」と道順を考えていたり、保育士の声掛けなく子どもたちで進んでいくようにもなりました。ぶどうグループではなかなか決まらなかったミッションの1つに保育士からの提案で“道の端っこを歩く”を追加することに。それまでは保育士の声掛けがないと道の真ん中を歩いていた子どもたちでしたが、その日は歩き出しからみんなが気にして端っこを歩いていました。しかし進んでいくにつれて真ん中を歩く子が増えていき…その日は子どもたちと話し合いミッションクリアのシールは貼らず、翌日に持ち越すことに。そして翌日、散歩の前に道の端っこを歩くミッションを改めて話し出発すると子どもたち同士で「〇〇ちゃん端っこ歩くんだよ!」「△△くん真ん中でとるよ!」と声を掛け合っていました。子どもたちが意識しながら歩いていること、声を掛け合っている姿が嬉しくて散歩の最後にミッションクリアできるかの話をすると「まだできやん」と話す子がちらほら。「真ん中いっぱい歩いてしまった」と思い出して話す子もいてなかなか貼れないミッションシール。2、3日続いた“道の端っこを歩く”というミッションの最後は「みんながミッションがなくても端っこを歩けるようになったら1つのシールになる」という話をしながら1つのシールを破って半分クリアになりました。ぶどうグループの子どもたちは今も散歩に行くときみんなで端っこ歩こうと声を掛け合っています。楽しいミッション散歩で交通マナーも身につけてきていて今後も遊びの中でいろいろなことが知っていけるよう工夫していきたいと思えます。ライオン組ですが、5月25日(水)は急なお知らせにも関わらず、長靴のご用意ありがとうございました。朝から午後の活動が楽しみなライオンさん。苗の植え方の話をしている時もいつになく真剣な表情。いざ苗を手にするまじまじ見ながら「白いひげみたいなのがある!」「そこからお芋なるんやって!」と興味津々でした。土を掘り苗を垂直に置いて土をかぶせる工程ではうまく苗が立たなくてお友達や保育士に手伝ってもらいながら頑張る子や、土を掘った手で顔を触ってしまい髭を作ってしまう子も…子どもたちは自分の植えた場所をよく覚えていて日が経っても「これわたしが植えたん!」と話してくれます。これから暑い時季、水やりをしながらみんなで大事に育てていきたいと思えます。(倉田)

